

NAGASAKI

長崎県立宇久高等学校

2026

UKU HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE

YOUR LOVE IS YOUR POWER.

君の「好き」は武器になる。



UKU HIGH SCHOOL 2026



令和8年度より

宇久高校で離島留学

始まります

OUR LOVE IS OUR POWER.

ここが世界のど真ん中じゃないことなんて知っている。

そして明日もそれなりにやってくる。

普通でいることは、きっと難しくない。

きっとそうやって生きていくことも。

だからこそ、あえて言う。

君自身を生きれ。

なにもないなら創れ。この片隅から世界へとガレ。

普通じゃないことを誇れ。それで生きていけ。

君自身を、世界に分からせろ。

そして

僕らの「好き」が
武器になる。



探究活動 Uku Labo

「Uku Labo」は、宇久高等学校ならではの特別な学びの場です。自分の「好き」を追求しながら、仲間と一緒に地域の未来を創り出す活動に参加できます。実際に手を動かし、考え、試行錯誤することで、学びの楽しさと達成感を味わうことができます。学校生活の中で、自分自身の可能性を広げる絶好のチャンスです。

ウニの養殖に取り組んでいます。ウニの生態を学びながら、成長過程を観察し、最適な環境を整えるための工夫を凝らしています！

DXハイスクール事業指定校

ハイスペックPCやVRゴーグルなどの最新の機器を導入し、探究活動をより科学的に深めることができます。ドローンに関する授業や、情報分野に関する遠隔授業・学校設定科目を実施しています。

宇久 高校

SCHOOL LIFE

宇久高校の特色

宇久サイエンスパーク

「Ukuサイエンスパーク」は、宇久高等学校ならではの特別な学びのキャンパスです。海・陸・空という多様なフィールドを活かし、自分の「好き」や「気になる」から出発して、地域や社会とつながる本物の探究に取り組みます。ウミガメの産卵調査、マイクロプラスチック問題の研究、赤ウニの飼育、農業体験、ドローンや宇宙通信技術の学習など、幅広いテーマに挑戦可能です。地域の人々や大学、企業と連携しながら、手を動かす、考え、試すことで、教室では得られない学びの深さと楽しさを体感できます。



YEAH!!

HA HA
HA!!



UKU HIGH TEACHERS

僕らの「好き」が
武器になる。

長良川の宇久高校は少人数制を活かした教育を行っています。英語科の山口先生をファシリテーターに、理科の荒木先生、地歴・公民科の小林先生が特別座談会を開催。少人数ならではのきめ細かな指導や生徒一人ひとりに寄り添う教育の工夫、理想の生徒像について熱く議論しました。



生徒×教員

「自然を活かした教育」

山口…宇久高校の教育について語り合います。まず、宇久高校での教育でどんな生徒を育てたいと考えていますか。

荒木…自然や人に目を向ける温かい生徒になってほしいです。来年度からの「C&Eサイエンスパーク」では、宇久の自然を活かし、身の回りの現象や生物に興味を持てる授業を心がけています。実験では五感で楽しめるよう工夫しています。

山口…理科が苦手な生徒にはどうアプローチしますか？

荒木…苦手の原因を探り、視覚的な教材や実体験で興味を引き出します。たとえば、微生物の授業でダムや溜池にミジンコを採取しに行く計画です。少人数なので機動的に動けますね。

「行動に移せる力の育成」

山口…小林先生は生徒を「動かす」ことを重視されていますね。どんな意図が？

小林…思いを行動に移せる生徒を育てたい。宇久の生徒は考える力があるのに、諦めてしまう子もいます。探究活動でテーマを決めて発表する経験を通じて、自信を持って語れる得意分野を見つけてほしいです。

山口…地歴・公民科の授業でこだわっていることは？

小林…「知識は忘れても概念は忘れない」がテーマです。年号よりも、その出来事による社会の変化や当時の人々の想いに触れる。そういう学びが「社会」を見る目につながっていくと考えています。

「教師のズシヨン」

山口…そのような教育は、生徒の主体性を育む上で非常に重要ですね。では、最後にお二人にとって宇久高校を一言で表すとどのような学校でしょうか？

荒木…私は「懐かしい」と感じる場所ですね。自然に囲まれ、生徒も教員も互いに支え合う環境がここにはあります。

小林…私は「自由」ですね。生徒が自分の考えや思いを行動に移せる、そしてそれをお互いが承認できる学校でありたいと考えています。

山口…素晴らしいですね。本日はありがとうございました。

思いを行動に
移せる生徒を育てたい。

UKU HIGH SCHOOL LIFE

宇久高校の 授業とは



生徒一人ひとりに最適化された授業を目指し、「対話」を重視しています。探究的授業では、生徒同士、教員、地域の方との対話を促進し、遠隔授業では他校や連携機関との対話も行います。また、最新技術を活用した対話や自己との対話も重要視しています。じっくりとした対話が学力向上やキャリア形成の基盤となる、少人数の宇久高校ならではの授業スタイルです。





UKU HIGH STUDENTS

僕らの「好き」が武器になる。

小さな島の高校で、先輩と後輩とどんな毎日を送っているのか？今回のインタビューでは、宇久高校で学ぶ1年生の藤枝くん（福岡県出身）と、3年生の安永さん（宇久島出身・生徒会長）、そして国語科の増山先生（宇久高校出身）が登場。学校生活の楽しさや悩み、地域とのつながり、そして島ならではのエピソードまで、本音で語ってくれました。

「宇久高校の魅力とは？」

増山先生…それでは、宇久高校の魅力について話してみましようか。宇久高校の魅力って何ですか？

藤枝くん…先生との距離が近いところ。他の学校では生徒同士がメインになりがちですが、ここでは先生も一緒に参加してくれます。例えば、球技大会やバーベキューなどの「ユビトマ企画」でも先生と一緒に楽しんでもくれるので、その距離感が魅力だと思います。

安永さん…確かに、先生たちが積極的に生徒と関わってくれるので、自然と距離が縮まります。

増山先生…なるほど。では、最初に宇久高校に来たときの印象はどうでしたか？

藤枝くん…どんな人がいるんだろうと不安でしたが、実際に来ると温かい人ばかりで、すぐに馴染むことができました。

安永さん…私も最初は少し緊張しましたが、すぐに先輩たちが話しかけてくれて安心しました。

「少人数教育の良さ」

増山…少人数教育ならではの良さって感じますか？

安永さん…あります。授業中に先生が一人ひとりにしっかり向き合ってくれるので、すぐに質問できます。やりたいことを伝えと先生もそれに応えてくれることが多いです。

藤枝くん…部活も人数が少ないからこそ、より深く関わることができる気がします。

「地域とのつながり」

増山先生…宇久高校ならではの地域とのつながりって感じることはありませんか？

藤枝くん…島全体が一つの大きなコミュニティみたいで、どこに行っても誰かに声をかけてもらえます。

増山先生…確かに、そういう地域の温かさは宇久高校ならではの魅力ですね。

「最後にメッセージ」

増山先生…最後に、これから宇久高校に入学を考えている中学生にメッセージをお願いします。

安永さん…人との距離が近く、サポートも手厚いので、安心して来てほしいです。楽しい三年間をすごすことができると思います。

増山先生…今日はお話ありがとうございました！

一人ひとりに

向き合ってくれる教育



「ユビトマ」企画とは

UKU HIGH SCHOOL LIFE



ユビトマ企画とは、生徒の「好き」を学校一丸となつて取り組む企画です。学校でかくれんぼをしたり、小説を書いてみたり、天体観測をしたり、自然探検をしたりします。あなたもぜひ宇久高校で、自分自身の「好き」を形にする素晴らしい経験をしてみませんか。





Uku Laboは、宇久高等学校ならではの特別な学びの場。ここでは、自分の「好き」を追求しながら、地域の未来を共に創り出す活動に参加できます。実際に手を動かし、仲間と共にアイデアを形にすることで、学びの楽しさと達成感を感じることができる、まさに“自分発見”の場所です。

1年生



自分の「好き」から始まる 探究の第一歩

1年生では、まず「自分は何が好きか」「どんなことにワクワクするか」という問いからスタートします。アニメやスポーツ、自然や地域の文化、身近な不便さへの気づきなど、生徒それぞれの“好き”や“気になる”を大切にしながら、探究活動のテーマを決めていきます。

2年生



宇久島をフィールドに 社会とつながる探究へ

現在の2年生は、実際に宇久島が抱える課題を出発点に、より社会とつながる探究活動に取り組んでいます。「島内で廃棄されるレジ袋をどう減らすか」「夜道が暗い地域に街灯をどう設置するか」「宇久島の自然音や生活音をPRに活かせないか」など、身近で切実な問題をテーマに、生徒自身が調査・分析を行い、解決策を考えています。

3年生



地域資源を未来につなぐ ウニの養殖プロジェクト

現在の3年生は、宇久島の豊かな海を活かした「ウニの陸上養殖」に取り組んでいます。学校内に設置された専用の水槽を活用し、実際に稚ウニの育成や給餌、成長の観察などを行う、実践的な探究活動です。生徒たちは、水質管理や生育環境の研究を重ねながら、持続可能な養殖のあり方を模索しています。こうした活動の成果は、研究発表会などで積極的に発信しています。

地域の未来をつくる 「アカウニプロジェクト」



令和6年度 グローカル探究カップin長崎大学
「長崎大学 探究の芽賞」受賞

宇久島は、人口減少や少子高齢化、雇用機会の縮小といった課題を抱えています。「この島をもっと元気にしたい」そんな願いを出発点に、地域の資源を生かしたアプローチとして、アカウニの育成研究が始まりました。1年次には、教室内で稚ウニを育てることに成功。2年次では、さらに一步進んで、稚ウニから成体のアカウニまで育てる挑戦がスタートしました。水槽を使った養殖実験では、餌の違いや水質の管理、水温の調整など、細かな条件の違いによる成長変化を観察しました。初回の実験では全滅という悔しい結果に終わりましたが、ろ過装置や冷却ファンを導入した2回目では、一定期間の飼育に成功。試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ成果を積み重ねています。

DXハイスクールは、未来の教育を先取りした学校改革プロジェクト。遠隔授業やデジタルものづくりなど、生徒の興味を引き出し、大学等との連携を強化。デジタル・理数系教育を強化し、地域や学校の特性に合わせた専門的な学びを提供します。新しい教育のカタチが、未来を切り開く力を育てます！



ドローン



宇久島をフィールドに 社会とつながる探究へ

宇久高校では、最新のドローンを完備。空から地域を見つめ直し、課題の発見や映像制作に挑戦する探究活動が展開されています。自然観察やPR動画の撮影など、活用方法はアイデア次第。デジタル技術を実体験で学びながら、未来をつくる力を育てていきます。

ドローンで飛び立つのは、地域を越えた学びのフィールドです。

星空は教室だ！ 宇久島の空はいつも綺麗

宇久高校では、天体望遠鏡を活用した夜間観測や星空の研究に取り組むことができます。満天の星が広がる宇久島の環境は、まさに“最高の教室”。観測を通して宇宙の不思議に触れ、科学的な視点と探究心を育てます。

星を見上げるそのまなざしが、未来を見つける力につながります。

天体望遠鏡



※ 画像はイメージです。

ハイスペックPC



※ 画像はイメージです。

創造力、フルスペック 宇久高校のデジタル制作環境

宇久高校には、動画編集や3Dモデリングが快適に行えるハイスペックPCを完備。さらに、音楽制作や映像編集に特化したソフトウェアを搭載したMacもそろっており、本格的なクリエイティブ活動が可能です。

「やってみたい」を形にできる、最先端の学びの環境がここにあります。

他にも多数導入予定

離島留学の詳細は
右のQRコードから
アクセスしてね！



Instagramも
毎日更新中！



学校情報等

【公式ホームページ】



【進路実績等】



入試情報

【特別選抜・離島留学特別選抜】

出願期間

令和8年1月13日(火)から1月19日(月)

検査日時

令和8年1月27日(火)

【一般選抜】

出願期間

令和8年2月2日(月)から2月6日(金)

検査日時

令和8年2月17日(火)・2月18日(水)

【チャレンジ選抜】

出願期間

令和8年3月6日(金)から3月10日(火)

検査日時

令和8年3月12日(木)

※詳しくは、本校HPにて公開予定です。

2026

長崎県立宇久高等学校

School Guide

NAGASAKI UKU HIGH SCHOOL



「宇久高校」で検索！

<https://www2.news.ed.jp/section/uku-h/>

宇久高校公式Instagramをはじめ
ました！右のQRコードを読み込むか、
「宇久高校」で検索！

